

I テーマ

【国語】大学入学共通テスト「平成 30 年度試行調査」に見る新傾向問題の指導法
— 複数の課題文と記述式問題 —

II 日時

滋賀大学 彦根キャンパス 校舎棟 2 階 第 13 講義室

2019 年 8 月 19 日 (月)

10 : 00 ~ 15 : 50

III 講師

塩島 翔 先生 (二松學舎大学 講師)

<講師紹介>

専門は国語教育。二松學舎大学、秀明英光高等学校において教鞭を執り、国語教育、大学の初年次教育に精通している。二松學舎大学 教職課程センター 専門委員、日本リメディアル教育学会 学校教育部会 部会長。

IV 概要

大学入学共通テストでは、従来のセンター試験とは異なった傾向の出題が予想される。先行して実施された「試行調査」の第 1 問では、一つの文章を読み解く出題形式ではなく、複数の課題文を組み合わせる読み、記述式で解答する問題が登場している。

大学入学共通テストにむけて、現行の科目配分の中で、国語教師はどのように指導法を改善すべきか。

本研修では、「平成 30 年度試行調査」の第 1 問を教材にして、複数の課題文を使った教授法の検討を行う。また、現行の教科書を活用した大学入学共通テストの指導法について検討する。

国語教育の立場から、大学入学共通テストおよび新学習指導要領について、論点の提起を行い、模擬授業とディスカッションを組み合わせる研修を行う。

V シラバス

10:00～ 11:30	模擬授業 1 大学入学共通テスト『平成 30 年度試行調査』第 1 問「ヒトと言語」を教材として 大学入学共通テストの実施にむけて、国語の授業で改善すべき指導法について検討する。 ①複数の課題文を用いた指導法 ②板書案の検討 ③記述式問題の指導法 ④生徒自身で自己採点できるシステム
11:40～ 12:10	1 時限目に関するディスカッション
13:30～ 15:00	模擬授業 2 大学入学共通テストに対応した現行教科書を用いた指導法 現行の教科書「国語総合」「現代文 A・B」を活用した共通テストに向けた発問について、作成の意図などを説明しながら検討を行う。 【使用テキスト】『新精選 現代文 B』（明治書院） 【使用教材】教材は当日配布します。 陣内秀信「近代都市のレトリック——スカイラインと塔状建築」 隈研吾「小さな建築」
15:10～ 15:40	2 時限目に関するディスカッション
15:40～ 15:50	アンケート記入

VI 申込方法

下記の項目を記入の上、滋賀大学高大接続・入試センターへ、FAX で、お申し込みください。FAX 番号は、0749-23-8645 です。参加費無料。締切 8 月 9 日（金）

高校名	
高校の電話番号	
高校の F A X 番号	
参加者名（ふりがな）	
メールアドレス	

滋賀大学 高大接続・入試センター
 〒522-8522 滋賀県彦根市馬場 1-1-1
 TEL 0749-27-1240
 FAX 0749-23-8645
 E-mail koudai-center@biwako.shiga-u.ac.jp
 担当 西村